

# 道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

## <地域重点プロジェクト>

- ・プロジェクト一覧(国、道) …… 1
- ・各プロジェクト(国)の概要 …… 5
- ・プロジェクト本体(国) …… 17
- ・個別の取組(国) …… 45



# **<地域重点プロジェクト> プロジェクト一覧(国、道)**



道北連携地域 地域重点プロジェクトの各プロジェクトの概要

(様式2-1)

| 項目            | 食  | 観光   | 環境 地域づくり 暮らし  | 離島                                    | 社会基盤  |
|---------------|--|--|---|---------------------------------------|---|
| 地域のめざす姿       | 地域の特性を生かした産業振興   | 多様な魅力あふれる観光の振興   | 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり  | 離島地域の振興                               | 生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成   |
| 地域重点プロジェクトの概要 | ◇上川の農産物供給力向上プロジェクト<br>・農産物の生産性向上<br>・農産物・食品輸送の効率化推進                  | ◇道北広域観光活性化プロジェクト<br>・広域周遊型観光の促進<br>・観光資源の保護、育成<br>・観光振興に配慮した基盤整備<br>・住民と連携した観光振興 | ◇豊かな自然環境保全プロジェクト<br>・河川周辺の環境の保全<br>・北海道遺産である天塩川における環境整備の推進<br>・環境に配慮した整備の促進<br>・農業とサロベツ湿原の共生に向けた整備<br>・環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現                           | ◇道北広域観光活性化プロジェクト(再掲)                  | ◇広域交通ネットワーク形成プロジェクト<br>・交通ネットワークの強化<br>・物流ネットワークの強化<br>・広域分散型社会に対応した地域交通の形成 |
|               | ◇留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト<br>・農産物の安定供給の推進<br>・水産物の品質向上<br>・物流ネットワークの充実 | ○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト  | ◇安全・安心な地域づくり防災力向上プロジェクト<br>・石狩川・留萌川及び天塩川の洪水に対する安全性向上<br>・地震、津波等に対する安全性向上<br>・土砂災害に対する安全性向上<br>・地吹雪対策などによる冬期交通の安全性等向上<br>・地域防災力向上の取組推進<br>・災害時の支援体制の充実 | ◇留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト(再掲)           | ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲)  |
|               | ○上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト   | ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲)   | ○安全・安心な地域づくりプロジェクト  | ○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト(再掲) | ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト(再掲)   |
|               | ○上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト   | ○ロシア極東との交流推進プロジェクト(再掲)   | ○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト  | ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲)              |   |
|               | ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト   | ○天塩川ブランド力向上プロジェクト  | ○天塩川ブランド力向上プロジェクト(再掲)   | ○るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト(再掲)       |   |
|               | ○るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト  | ○人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト   | ○人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト(再掲)  | ○活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト(再掲)              |   |
|               | ○活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト   |  | ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト(再掲)  | ○安全・安心な地域づくりプロジェクト(再掲)                |   |
|               | ○ロシア極東との交流推進プロジェクト   |  | ○人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト  | ○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト(再掲)              |   |
|               | ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト  |  |   | ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト(再掲)     |   |

※赤字：国が推進主体となるプロジェクト 青字：北海道が推進主体となるプロジェクト



# **<地域重点プロジェクト> 各プロジェクト(国)の概要**



## 国家的・広域的な課題

- 道北地域は、人口減少・高齢化率が全道平均よりも高い割合で推移し、後継者や担い手不足が一層顕在化している状況です。さらに感染症の影響により外国人労働力に依存する生産体制のリスクが顕在化しています。生産空間を維持し、我が国の食料供給基地として貢献していくためには、農地・農業用水の確保、水産資源の回復・管理、漁場整備、後継者・担い手の確保・育成、スマート農業等、我が国の食料安全保障を支えるイノベーションの加速による農水産業の振興、「食」の高付加価値化と総合拠点づくりを進め、北海道の高品質な農水産品や食品の輸出を一層促進し、地域内で持続可能な農水産業を構築する必要があります。また、地域内外の交流・協働を促進し、人口減少をカバーするとともに、多様な人材との対話をひき起こし、効率的・利便性の高い物流ネットワークの形成、ポストコロナを見据えた産業立地・振興を促進して、価値創造力を強化する必要があります。
- 北海道は、長い海岸線を有する北の国境地帯として、我が国の領域及び海洋権益の保全に重要な地域です。特に、道北地方や離島地域といった国境周辺地域については、有人国境離島地域に係る関係法令等の趣旨を踏まえ、産業の振興や生活条件の改善を通じて、定住の促進等を図ることが重要です。離島地域については、本土への安定的なアクセスを確保し、交流を促進するため、離島振興計画に基づき、航路の維持及び港湾の整備を推進するとともに、観光の推進や産業の育成、安全・安心な定住条件の整備強化等を支援することが必要です。

## プロジェクトの概要

人口減少による後継者や担い手不足が一層顕在化する中、我が国の食料安全保障及び地域の主要産業である農林水産業や食関連産業を営む「生産空間」の維持発展に向けて、広大な土地を活かした農業と多種多様で恵まれた水産資源を活かし、さらにロボット、AI、IoT等の活用によるイノベーションを加速させ、良好な営農条件を備えた農地・農業用水の確保、水産資源生産力の向上、ポスト・コロナを見据えた産業振興を促進する物流ネットワークの強化等を図ることにより、高品質で安全・安心な食料供給力の強化を目指します。

## 主な取組

- 農産物の安定供給の推進
  - ・泥炭土に起因する地盤沈下の進行による湛水被害の解消等により、安全・安心な牛乳や畜産物の安定供給に向け、省力化や低コスト化を図ります。
  - ・農地の大区画化及び排水不良等の解消により、良好な営農条件を備えた農地の確保と農業効率の向上を目指すとともに、農地の集積集団化や営農の組織化、先端技術を活用したスマート農業の導入により、地域ぐるみで収益性を向上させる取組を促進します。
  - ・老朽化が進行する農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るため、農業水利施設の戦略的な保全管理を推進します。
  - ・集中豪雨の増加や大規模災害の発生等、災害リスクの高まりに対応するため、農業水利施設の耐震化や「流域治水」の考え方に基づき事前防災対策（流域治水プロジェクトの推進）等を推進します。
- 水産物の品質向上
  - ・衛生管理対策や流通機能の高度化・効率化に資する施設の整備を進め、安全・安心な水産物の安定供給及び輸出促進を図ります。
  - ・離島漁港等の整備を推進し、離島水産産業の振興により地域活性化を図ります。
  - ・海からの強風を遮る防風施設を整備し、荷揚げの安全性向上と水産物の品質向上を図ります。
  - ・産学官連携による留萌管内のナマコ資源活性化の取組を進めます（ナマコ資源活性化PF）。
- 物流ネットワークの充実
  - ・安定及び定時性が確保された輸送により、高鮮度の食材提供を図るため、高規格道路等のアクセスの強化、物流拠点である港湾、空港の機能強化と、これらを結び広域的な物流ネットワークの整備を推進します。

## 令和7年度（5年後）の目標

- 【農業】
  - ・国営総合農地防災事業（産土地区・勇知地区・幌延地区）の推進
  - ・国営農地再編整備事業（東宗谷地区（R6完了予定））の推進
  - ・農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断
- 【港湾】
  - ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港・増毛港・天塩港・稚内港・枝幸港・鴛泊港・杓形港・香深港）
  - ・農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（枝幸港）
  - ・小型船溜まり整備の推進（羽幌港・宗谷港）

## 地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 地域特性を活かした産業振興
- 離島地域の振興

## 連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・基幹産業である農林水産業における生産基盤の強化と安定供給、より効率的で高品質な生産の推進
- ・地域産業における多様な担い手と人材が活躍できる環境づくり
- ・地域の特色ある農林水産物のブランド力の強化や6次産業化など産業間連携の展開、国内外への販路拡大
- ・産学官金の連携による産業の創出・育成
- ・地域資源を活かした企業立地の促進
- ・ロシア極東との経済・文化交流の推進
- ・建設産業の経営力強化などの促進
- ・領海や排他的経済水域の保全など、国家的な役割を踏まえた離島地域社会の維持
- ・基幹産業である水産業や観光産業の振興
- ・医療体制や交通・情報通信基盤の整備など安全・安心な離島生活の確保

## 令和5年度の具体的な施策内容

- 【農業】
  - ・国営総合農地防災事業（機能低下が生じた農業用排水路及び農用地の機能回復）（産土地区・勇知地区・幌延地区）
  - ・国営農地再編事業（ほ場の大区画化と排水不良解消）（東宗谷地区）
  - ・農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断
- 【漁港】
  - ・漁船航行の安全性向上のための航路・泊地の水深確保、防波堤・防風柵等の整備（東浦・礼文西漁港）
  - ・漁獲物の品質向上及び衛生管理のための岸壁等の整備（東浦漁港）
  - ・漁港施設の長寿命化のための防波堤・岸壁等の補修（東浦漁港・抜海漁港・礼文西漁港・仙法志漁港）
  - ・漁港内での稚ナマコ中間育成の実用化に向けた調査の実施（苫前漁港）
- 【港湾】
  - ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤・物揚場・岸壁等の整備（留萌港・増毛港・天塩港・稚内港・枝幸港・鴛泊港・杓形港・香深港）
  - ・水産物流の効率化のための小型船だまりの整備（羽幌港・宗谷港）
  - ・農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（枝幸港）
- 【道路】
  - ・物流ネットワークの安定及び定時性確保のための基幹的ネットワークの整備（国道40号天塩防災、国道232号小平防災、国道232号高砂橋架替、国道239号霧立防災、国道238号浜猿防災、国道238号幌別橋架替）

- 【漁港】
  - ・岸壁（衛生管理型）の整備推進（東浦漁港）
  - ・防波堤の整備推進（R4完了）（抜海漁港）
  - ・防波堤、岸壁の整備推進（礼文西漁港）
  - ・防波堤、岸壁等の長寿命化対策のための補修工事の推進（東浦漁港・抜海漁港・礼文西漁港・仙法志漁港）

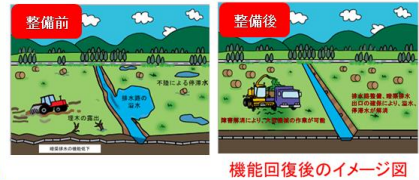
- 【道路】
  - ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
  - ・国道232号小平防災の推進
  - ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定）
  - ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通）
  - ・国道238号浜猿防災の推進（R4部分開通、R6部分開通予定）
  - ・国道238号幌別橋架替の推進

- 宗谷地域は、わが国の乳製品、ホタテをはじめとする水産品の供給地として発展。
- 農業生産基盤整備では、排水路整備により農地の湛水被害を解消するほか、農地の大区画化による農業生産性の向上と営農の安定化に寄与。
- 漁港や港湾の整備では、全国漁獲量の約4割を占める宗谷地域のホタテを水揚げする漁船の係留や作業の効率化に寄与。
- 国道の整備では、地吹雪が多発する冬期でも生乳や水産物の物流の利便性、安全性、速達性向上に寄与。

## 農業生産基盤整備の取組

### 国営総合農地防災事業【勇知地区・幌延地区】

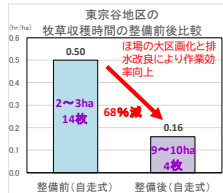
○機能低下した農地・農業用排水路の機能回復により、農業生産の安定化・国土保全に寄与



機能回復後のイメージ図

### 国営農地再編整備事業【東京谷地区】

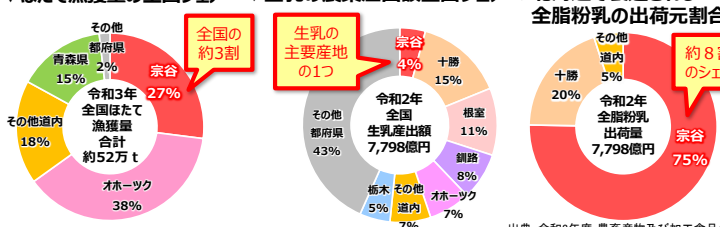
○農業生産基盤の整備・土地利用整形化により、農業生産性向上と農業経営安定化



## 事業実施による地域への貢献

- 全国漁獲量の約3割の天然ホタテの産地  
⇒漁港や港湾の整備、物流の利便性向上が相まって、ホタテ産地である宗谷・猿払・枝幸地域の所得向上に寄与
- 全国有数の乳製品産地  
⇒生産基盤の回復・向上による酪農の経営体質強化、乳製品の物流利便性向上と相まって、全国有数の乳製品産地として発展

▼ほたて漁獲量の全国シェア ▼生乳の農業産出額全国シェア ▼北海道で製造される全脂粉乳の出荷元割合



出典: 海面漁業生産統計、北海道水産現勢 出典: 令和2年市町村別農業産出額 出典: 令和3年度 農畜産物及び加工食品の移出実態調査結果報告書



乳製品 道内外へを配送

ホタテ 道内外へ輸送  
【新千歳空港・苫小牧港等へ】

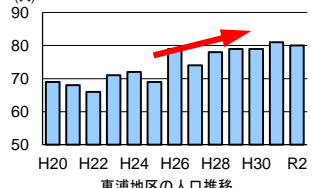


【水産加工販売会社】  
・活ほたては、新千歳空港まで輸送し、そこから海外に出荷しています。好まれる活ホタテは国によって異なり、中国では品質が良く大ぶりの宗谷産のホタテの需要が高いです。

出典: 稚内開発建設部調べ (牛乳生産工場、自治体・水産会社ヒアリング)

## 港湾整備、水産基盤整備の取組

- 東浦地区 特定漁港漁場整備事業  
⇒ホタテの生産体制の拡大や、衛生管理対策の推進により、安定的な生産が図られ、地域の生産空間の維持にも貢献。



- 枝幸港 本港新港地区 小型船だまり整備事業  
⇒ホタテの輸出促進を図るため屋根付き岸壁を整備し、品質・衛生管理の強化を図るほか、小型船だまり等を整備し、水産活動を効率化



## 道路整備事業の取組

- 国道40号 天塩防災事業  
⇒地吹雪による視程障害の低減を図り、道路の安全な通行を確保
- 国道238号 浜猿防災事業  
⇒海岸浸食対策、地吹雪による視程障害の低減を図り、道路の安全な通行を確保  
〔海岸浸食による被災〕 〔浜猿防災の海岸浸食対策工〕



# 道北広域観光活性化プロジェクト〔道北連携地域〕

## 国家的・広域的な課題

- 大雪山、利尻・礼文・サロベツ国立公園、暑寒別天売焼尻国定公園や天塩川、層雲峡、日本海オロロンライン、富良野・美瑛など世界に誇れる豊かな自然環境や景観、多種多様な農水産物に恵まれた地域ですが、観光地が広域的に分散していることから、北海道7空港一括運営を活用し交通拠点との連結、軌道系アクセス新設等により観光拠点間のアクセスを向上させて観光地を周遊しやすい環境を整備するとともに、国内外の感染症の状況を見極め、需要を喚起しつつ広域的な連携を進めて、サイクルツーリズム、体験・滞在型観光、一度は訪れてみたい「聖地」づくりなど、地域の資源・特性を活かした多様な観光メニューの充実を図り、国内旅行とインバウンドの両輪により、持続可能で魅力的な世界水準の観光地域づくりを進める必要があります。また、地域に隣接するロシア連邦サハリン州、東南アジアとの観光経済交流を更に進める必要があります。
- 北海道は、長い海岸線を有する北の国境地帯として、我が国の領域及び海洋権益の保全に重要な地域です。特に、道北地方や離島地域といった国境周辺地域については、有人国境離島地域に係る関係法令等の趣旨を踏まえ、産業の振興や生活条件の改善を通じて、定住の促進等を図ることが重要です。離島地域については、本土への安定的なアクセスを確保し、交流を促進するため、離島振興計画に基づき、航路の維持及び港湾の整備を推進するとともに、観光の推進や産業の育成、安全・安心な定住条件の整備強化等を支援することが必要です。



## 地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 多様な魅力あふれる観光の振興
- 離島地域の振興

## 連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・雄大で美しい自然環境や多彩な食などの地域資源を活かした通年・滞在型観光地づくりや広域観光の推進
- ・外国人観光客の受入体制の整備・促進
- ・広域的なスポーツ、アウトドアイベントの開催やスポーツ・音楽合宿の誘致等
- ・これまでの広域連携を踏まえた空港を核とした観光客誘致の推進
- ・領海や排他的経済水域の保全など、国家的な役割を踏まえた離島地域社会の維持
- ・基幹産業である水産業や観光産業の振興
- ・医療体制や交通・情報通信基盤の整備など安全・安心な離島生活の確保

## プロジェクトの概要

地域の交流及び関係人口を更に増やし地域の活性化を図るため、北海道横断自動車道に繋がる道北地域の幹線道路ネットワーク整備等の推進及び地域内のアクセス性の向上を図るとともに、道北地域一帯を巡る観光ルートの開発に繋がる観光振興に配慮した基盤整備を行い、地域資源を最大限活用して、地域全体が広域的に連携した魅力と競争力ある観光地づくりを進め、国内外の新たな観光需要を取り込み、リピーターを増やし、観光客を北へ誘導する仕組みづくりを促進します。

## 主な取組

- 広域周遊型観光の促進
  - ・観光地へのアクセスや観光地間の周遊の利便性向上のためのゲートウェイ（空港、港湾）機能、サハリン州との交流促進のための空港機能、ネットワーク（高規格道路網等）機能の強化や整備
- 観光資源の保護、育成
  - ・世界的に価値ある自然資源としてのサロベツ原野の保全、再生
  - ・北海道遺産である天塩川における環境整備の推進
- 観光振興に配慮した基盤整備
  - ・景観に配慮した道路整備の推進・河川空間の利用者に配慮した河川整備の推進・食のブランド力向上のための農漁村環境・景観に配慮した生産基盤整備の推進
  - ・移動を含めて楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム、河川空間やインフラを活用したツーリズム、自然体験等を含むアドベンチャートラベル等、地域資源を活用した観光振興に向けた環境の創出
  - ・広域観光周遊ルート形成に向けた観光地点間の連携強化と外国人観光客の文化習慣に配慮した受入環境や観光案内の充実・無電柱化、交通安全対策の推進
  - ・外国人客4,000万人時代に向けたインフラ整備
  - ・人が集まる魅力的な場となる複合交流拠点づくりの推進
- 住民と連携した観光振興
  - ・シーニックバイウェイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの促進
  - ・地域の価値創造力を高める多様な人材の広域的・横断的な支援・協働体制として、地域パートナーシップ活動を展開
  - ・水産業と観光の連携など水産業を核とした地域振興方針であるマリビジョンの推進
  - ・地域住民とともに、みなどを活用した交流拠点を形成し、地域の賑わい創出を図る北海道みなどオアシスの促進
  - ・地域の景観、交流など地域住民主体の地域活性化活動を支援する「わが村は美しくー北海道」の推進
  - ・まちづくりと一体となった魅力ある水辺空間の創出及び「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進

## 令和5年度の具体的な施策内容

- 【河川】
  - ・かわまちづくりの推進（名寄川地区）
  - ・自然再生事業の推進（天塩川）
  - ・かわたびほっかいどうの推進
- 【道路】
  - ・北海道縦貫自動車道（土別剣淵～名寄）
  - ・旭川十勝道路（富良野北道路）
  - ・国道40号音威子府バイパス
  - ・北海道縦貫自動車道（中川～天塩）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
  - ・旭川十勝道路（上富良野～中富良野）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
  - ・国道452号五稜道路
  - ・国道39号比布大橋架替
  - ・国道237号 湯の沢橋架替
  - ・国道40号天塩防災
  - ・国道232号小平防災
  - ・国道232号高砂橋架替
  - ・国道239号霧立防災
  - ・国道238号浜猿防災
  - ・国道40号稚内中央電線共同溝
  - ・国道40号稚内港電線共同溝
  - ・国道238号幌別橋架替
  - ・シーニックバイウェイの推進
- 【港湾】
  - ・観光地へのアクセス向上に資する航路の整備（留萌港）
  - ・船舶の安全航行を確保し、ゲートウェイ機能を強化する防波堤等の整備（沓形港、香深港）
  - ・「みなどオアシス」の展開等、地域住民との協働による観光振興の取組の推進（稚内港、香深港、鷺泊港、沓形港、留萌港）
  - ・北防波堤ドーム予防保全事業の推進（稚内港）
  - ・「沓形港クルーズ船見送り隊」の取組の推進（沓形港）
- 【漁港】
  - ・地域マリビジョンの推進
- 【農業】
  - ・国営農地再編整備事業（東京谷地区）の推進
  - ・国営緊急農地再編整備事業（北野地区、愛別地区、大雪山東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪山東川第二地区、旭東地区）の推進
  - ・国営総合農地防災事業（産土地区・勇知地区・幌延地区）の推進
  - ・「わが村は美しくー北海道」の推進
- 【共通】
  - ・地域パートナーシップ活動の展開
  - ・インフラツーリズムの推進

## 令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】
  - ・かわまちづくりの推進（名寄川地区）
  - ・自然再生事業の推進（天塩川）
  - ・かわたびほっかいどうの推進
- 【道路】
  - ・北海道縦貫自動車道（土別剣淵～名寄）の推進
  - ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進
  - ・北海道縦貫自動車道（中川～天塩）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
  - ・旭川十勝道路（上富良野～中富良野）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
  - ・国道232号小平防災の推進
  - ・国道39号比布大橋架替の推進
  - ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7開通予定）
  - ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
  - ・国道452号五稜道路の推進
  - ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定）
  - ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通）
  - ・国道238号浜猿防災の推進（R4部分開通、R6部分開通予定）
  - ・国道40号稚内中央電線共同溝の推進
  - ・国道40号稚内港電線共同溝の推進
  - ・国道238号幌別橋架替の推進
  - ・シーニックバイウェイの推進

- 【港湾】
  - ・観光地へのアクセス向上に資する航路整備の推進（留萌港）
  - ・船舶の安全航行を確保し、ゲートウェイ機能を強化する防波堤等の整備の推進（沓形港・香深港）
  - ・北防波堤ドームの予防保全事業の推進（稚内港）
- 【空港】
  - ・空港施設の改良・更新の完了（R4完了）（稚内空港）
- 【農業】
  - ・国営農地再編整備事業（東京谷地区（R6完了予定））の推進
  - ・国営緊急農地再編整備事業（北野地区、愛別地区、大雪山東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪山東川第二地区、旭東地区）の推進
  - ・国営総合農地防災事業（産土地区、勇知地区、幌延地区）の推進
  - ・「わが村は美しくー北海道」の推進



## 国家的・広域的な課題

■ 生物の多様性の損失や天然資源の減少、地球温暖化の進展等、地球規模での環境問題が深刻化する中で、道北の豊かな自然環境を国民共通の資産として将来にわたって継承するため、自然共生社会、循環型社会、脱炭素社会の構築に向けた取組を総合的に進め、持続可能な地域社会の構築を図る必要があります。2050年カーボンニュートラル(ゼロカーボン北海道)の実現に向け、道北地域に豊富に賦存する風力、地熱を始め、バイオマス、水力、太陽光等の再生可能エネルギーの導入等、温室効果ガス排出削減対策等に取り組む必要があります。また、我が国の気候変動対策及びエネルギー安全保障強化の観点から、このような低炭素で多様な国産エネルギー源のポテンシャルを最大限に活用する必要があります。

## 地域のめざす姿(令和7年の地域の将来像)

■ 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり

## 連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

- ・脱炭素型の地域づくりの実現に向け、自然特性を活かした風力、太陽光、雪氷、地熱、木質バイオマスなどを活用した新エネルギーなどの導入や普及を推進
- ・野生鳥獣の適正な保護管理・利活用のための取組の推進

## プロジェクトの概要

サロベツ原野に代表される地域の自然環境の保全に配慮し、農地、河川、湖沼、海域が保全する環境保全機能の維持回復を図ることで、豊かな生態系との共生や循環型社会の形成、脱炭素社会や2050年カーボンニュートラル(ゼロカーボン北海道)の実現に向けた取組を推進します。また、風力を始めとする豊富な再生可能エネルギー源を活用して、エネルギーの地産地消を進めるなど北のエネルギー拠点を目指します。

## 主な取組

- 河川周辺の環境の保全
  - ・河川・ダム湖等の水辺周辺の緑の保全を図るとともに、多様な生物種の生息・生育環境の確保を図るため多自然川づくりを推進します。
  - ・多様な動植物の生息環境を確保するため、汽水環境の再生を図ります。
  - ・河川を身近な自然体験の場として活用するため、良好な水辺環境を整備します。
- 北海道遺産である天塩川における環境整備の推進
  - ・魚類の連続性確保(魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討)
  - ・下流汽水域の環境保全整備
  - ・旧川(河川改修等により水が流れていない昔の河道)の環境整備
- 環境に配慮した整備の促進
  - ・水生生物の生息環境に配慮した構造の防波堤などの整備を図ります。
  - ・水路の自然護岸化、魚道の設置など生物の移動経路を確保した農業用排水施設の整備を図ります。
  - ・動植物の生息環境に配慮した道路整備を図ります。
  - ・河川の水質に配慮した排水施設の整備を図ります。
- 農業とサロベツ湿原の共生に向けた整備
  - ・農業と湿原の共生に向けた関係機関との連携をもとに、緩衝帯や沈砂池を設置します。
- 環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現
  - ・再生可能エネルギーの導入や地域分散型エネルギーシステムの導入の促進。

## 令和5年度の具体的な施策内容

- 【河川】
  - ・魚類等の生息・産卵環境の復元に配慮した河床洗掘対策(石狩川上流 南永山地区)の推進
  - ・水際の多様化に配慮した河道掘削と河岸保護(石狩川上流辺別川地区、天塩川上流美深地区)の推進
  - ・サンルダム湖周辺環境保全の推進
  - ・魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討の推進(天塩川流域)
  - ・魚類等の生息環境の保全・改善、魚類の移動の連続性確保
  - ・まちづくりと一体となった水辺整備を推進(天塩川)
  - ・汽水環境の整備(天塩川)
  - ・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全(天塩川)
- 【道路】
  - ・国道40号天塩防災
  - ・国道238号浜猿防災
- 【農業】
  - ・天塩川の水質に配慮した暗渠排水疎水材(石灰石)を使用した整備(産士地区、幌延地区)

## 令和7年度(5年後)の目標

- 【河川】
  - ・魚類等の生息・産卵環境の復元に配慮した河床洗掘対策(石狩川上流 南永山地区)の推進
  - ・水際の多様化に配慮した河道掘削と河岸保護(石狩川上流、天塩川上流)の推進
  - ・サンルダム湖周辺環境保全の推進
  - ・魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討の推進(天塩川流域)
  - ・天塩川中上流地区における自然再生事業の推進
  - ・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全の推進(天塩川)
  - ・まちづくりと一体となった水辺整備の推進(天塩川)
  - ・汽水域等の環境整備の推進(天塩川)

- 【道路】
  - ・国道40号天塩防災の推進(R5部分開通予定)
  - ・国道238号浜猿防災の推進(R4部分開通、R6部分開通予定)

- 【農業】
  - ・国営かんがい排水事業(当麻永山用水地区(小水力発電))(R4完了)
  - ・国営総合農地防災事業(産士地区、幌延地区)の推進